

# 子ども司書新聞

第14号

6月17日発行

## 分類体系を考えることは図書館の基礎です

6月17日に第2期五所川原市子ども司書養成講座の第2回の講義が行われました。今回のテーマは図書館の本の分類法である「日本十進分類法（NDC）」です。まず本屋さんの本と図書館の本の違いや図書館で本が貸出されるまでにどのようなことをしているのかを学びました。次に、図書館の分類、NDCについて学びま



ました。NDCとは何か、どんなものなのか説明を受け

た後に実際にNDCから本を探してみたり、図書館の本をNDCで分類してみたりしました。

分類を学んだ受講生は「大変だったけどがんばって出来た」、「難しかった」、「第二次区分表をがんばっておぼえよう」と感じたようです。

次回は、「レファレンス」について学びます。

### 展示「第1期五所川原子ども司書がおすすめします」のお知らせ

期間：6月30日（金）まで

場所：市立図書館児童室かべざわ

第1期五所川原子ども司書の荒関優花さんと其田磨究さん（金木小）は学校でも子ども司書として活動しています。ふたりが友だちやみなさんにおすすめしたい本を選びました。

### 第3回 7月1日（土） レファレンスって なあに？

#### 今日はなんの日？

1910年6月17日は津軽三味線を全国に広めた第一人者である初代高橋竹山さんが生まれた日です。

伊藤忠吉記念図書館には津軽三味線の本がたくさん！

「きょうはこんな日365」より

#### <編集後記>

担当：下柵欄

第2回目にして図書館の基礎となる分類について学びました。難しかったようですが、本を探したり分類してみたりすることで少しでも理解してもらえたらうれしいです。